

第4章 地域学校協働活動等の参考事例とお役立ち情報

1 地域学校協働活動等の参考事例

(1) 三豊市 公民館を支援拠点とした地域活動（放課後子供教室）

三野町公民館大見分館では、毎月1回「地域で遊ぼう！チャレンジ教室」を実施しています。活動内容は、「緑のカーテンづくり」、「人形浄瑠璃教室」、「防災教室」です。

その特徴は、公民館主事が地域コーディネーターとなり、学校や地域の団体等と連携を図りながら計画・実施しており、公民館を支援拠点とした地域学校協働本部（※P20参照）となっていることです。



緑のカーテンづくり



人形浄瑠璃教室



防災教室

(2) 三木町 「地域未来塾」 (地域ボランティアによる学習支援)

主催：三木町教育委員会

対象：三木町立三木中学校3年生

日時：9～2月の毎週火曜日 17:30～19:30

定員：20名

参加費：無料

指導員：香川大学学生

三木町地域未来塾は、平成29年度から開設されています。



地域未来塾

(3) 丸亀市 「地域コーディネーター養成塾」

丸亀市では学校・家庭・地域が一つになり、子どもの育ちや学びを支えていく体制づくりの一環として、「地域コーディネーター養成塾」が開設され、人材育成が進められています。

「地域の人たちが地域の子どもたちのために、自分の得意分野を生かして学校を応援することで、地域も元気になる。そのためには、学校の抱える諸問題と地域活動を結びつける『地域コーディネーター』の役割が重要である」という考えのもと、平成29年度から開設されています。



地域コーディネーター養成塾